

# 入 試 要 項

桐朋学園大学音楽学部

研 究 生

2012



## 目 次

	ページ
目的と受験資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
研究生〔1〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
研究生〔2〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
研究生〔3〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
音楽学研究生カリキュラムに関する規定・・・・・・・・	14
古楽器研究生カリキュラムに関する規定・・・・・・	14
出願書類等記入上の諸注意・・・・・・・・・・・・・・・・	15
交通機関案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
宿泊施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18

### 同封の書類等

研究生〔1〕・研究生〔3〕

- ・ 研究生志願票
- ・ 伴奏譜提出票
- ・ 検定料納金票 あ (研究生〔3〕出願用) い (研究生〔1〕出願用)
- ・ 出願書類送付用封筒
- ・ 受験証送付用封筒

研究生〔2〕

- ・ 研究生志願票
- ・ 受験証(出願証)送付用封筒
- ・ 出願書類送付用封筒
- ・ 検定料納金票 う (研究生〔2〕出願用)

## 目的と受験資格

---

### 目 的

専攻実技等の研究を深めたい者のためにこの制度をおく。

### 受験資格

#### 研究生〔1〕

2012年3月、本学音楽学部を卒業見込みの者を対象とする。

※本学音楽学部で履修した専攻を変更して研究生になることを希望する場合は、**研究生〔3〕**で受験する。

なお、「副専攻」を修了見込みの者は、「副専攻」の専攻で研究生〔1〕を受験することができる。

#### 研究生〔2〕

既に本学の研究生に在籍している者で、2012年度も**履修継続**（再登録）を希望する者を対象とする。

#### 研究生〔3〕

以下の者を対象とする。ただし、ピアノ専攻は募集しない。

1. 他大学音楽学部を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 本学音楽学部を卒業した者
3. 2012年3月本学音楽学部を卒業見込みの者で、専攻を変更して研究生になることを希望している者
4. 相当の年齢に達し、本学音楽学部を卒業した者と同等の学力があると思われる者

注) 4.項の場合は事前に問い合わせること。

問い合わせ先：事務局教務課入試係 電話 03-3307-4122

注) 研究生は大学設置基準第31条に定められる「科目等履修生」にあたるため、学割証や通学証明書は交付されない。また、奨学金についても申請することができない。

# 研究生〔1〕

---

## 1. 専攻と修業年限・在籍年限

専攻	修業年限	在籍年限
ピアノ	2年	2年
弦楽器 管楽器 打楽器 ハープ	1年	2年
古楽器 声楽 作曲	1年	3年
指揮	1年	2年
音楽学	2年	3年

(注意)

- ・在籍は1年ごととし、継続希望者は毎年度所定の履修継続(再登録) 手続をしなければならない。

## 2. 受講科目

- ・専攻実技(音楽学、古楽器は14ページ参照)
- ・本学音楽学部の開設科目(受講者制限のため、一部受講できない科目がある)
- ・選択副科実技、室内楽・二重奏ソナタ(履修には別途受講料納入が必要となる)
- ・教職課程科目については、大学在学中に教職課程を履修していなかった場合は、受講料が別途必要となる。

## 3. 修了

1. **ピアノ専攻**  
2年目の年度末に修了試験を行う。(1年目の修了試験は行わない)  
合格者には「修了証」が交付され、課程を修了する。
2. **弦楽器・管楽器・打楽器・ハープ・声楽・作曲・指揮**の各専攻  
1年ごとに修了試験を行う。  
合格者には「修了証」が交付され、その年度の課程を修了する。
3. **古楽器専攻**  
2年目または3年目の年度末に修了試験を行う。(1年目の修了試験は行わない)  
合格者には「修了証」が交付され、課程を修了する。
4. **音楽学専攻**  
2年目または3年目の年度末に修了論文を提出する。  
合格者には「修了証」が交付され、課程を修了する。

## 4. 募集人員

各専攻若干名

## 5. 出願要領

出願期間・方法 **2012年1月5日(木)～1月15日(日)**【郵送に限る。1月15日消印有効】  
事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

**入学検定料** 5,000円  
必ず「検定料納金票」を使用し、銀行振込による。(納金票  を使用する)  
a) みずほ銀行、三菱東京 UFJ 銀行窓口からの振込手数料は不要。  
b) 納金票②票(領収証)は、銀行収納印をもって本学領収印に代える。

**出願書類等** 1) 研究生志願票(裏面の記入は不要)  
2) 入学検定料振込の銀行領収印のある納金票の①票(受験証)  
◎志願票と納金票の①票(受験証)の所定の枠に合わせて写真を貼付する。  
●正面上半身脱帽 ●背景のないもの  
●3カ月以内に撮影したもの ●タテ4cm×ヨコ3cm  
3) 受験証送付用封筒  
受験者本人が受け取る住所を記入し、350円分の切手を貼付する。

**選考方法** 書類選考  
ただし、作曲専攻および音楽専攻の選考は以下のとおり。  
**作曲専攻……作品提出および専攻面接**  
作品提出－1曲以上を1月30日(月)16:30までに提出する。  
専攻面接－2月2日(木)に実施する。  
**音楽学専攻…専攻面接**  
専攻面接－2月20日(月)に実施する。  
※面接集合時刻は応募者に別途連絡する。

**合格発表** 2012年2月8日(水) 16時予定  
ただし、音楽学専攻は以下のとおり。  
音楽学専攻 2012年2月21日(火) 16時予定  
※合格者の受付番号を学内掲示発表および本学ホームページに掲載する。  
また、志願票に記載された宛先に入学手続書類を郵送する。

## 6. 入学手続

**手続期限・方法** 2012年3月7日(水)～14日(水)【郵送に限る。3月14日必着】

**提出書類等** 1) 身元保証書(本学が指定する用紙)  
2) 住民票(本人のみ記載のもの)または住民票記載事項証明書  
3) 学籍台帳(本学が指定する用紙)  
4) 写真(タテ4cm×ヨコ3cm) 2枚  
5) 誓約書(本学が指定する用紙)  
6) 「入学手続納付金払込用紙」の副票 他  
※ 詳細は「合格者心得」で通知する。

**校納金** 2012年度校納金

受講料	(年額)	450,000円*
施設設備費	(前期)	35,000円*
	(後期)	35,000円

注1) \*印が入学手続時に納入する金額である。

注2) 経済情勢の変動等に応じて2013年度以降の校納金については改定があり得る。

## 研究生〔2〕

### 1. 履修継続（再登録）出願要領

出願期間・方法 2012年1月5日（木）～1月15日（日）【郵送に限る。1月15日消印有効】  
事前に出願料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出 願 料 5,000円  
必ず「出願料納金票」を使用し、銀行振込による。（納金票 ㊦ を使用する）  
a) みずほ銀行、三菱東京 UFJ 銀行窓口からの振込手数料は不要。  
b) 納金票②票（領収証）は、銀行収納印をもって本学領収印に代える。  
c) ①、②、③票には受験する該当番号を○で囲み、（ ）内に専攻名を記入する。

出 願 書 類 等 1) 研究生志願票（裏面の記入は不要）  
2) 出願料振込の銀行領収印のある納金票 ㊦ の①票（出願証）  
3) 受験証（出願証）送付用封筒  
受験者本人が受け取る住所を記入し、350円分の切手を貼付する。

選 考 方 法 書類選考

合 格 発 表 2012年2月8日（水） 16時予定  
ただし、音楽学専攻は以下のとおり。  
音楽学専攻 2012年2月21日（火） 16時予定  
※ 合格者の受付番号を学内掲示発表および本学ホームページに掲載する。  
また、志願票に記載された宛先に入学手続書類を郵送する。

### 2. 履修継続（再登録）手続

手続期限・方法 2012年3月7日（水）～14日（水）【郵送に限る。3月14日必着】

提 出 書 類 等 1) 写真（タテ4cm×ヨコ3cm）2枚  
2) 「納付金払込用紙」の副票 他  
※詳細は「合格者心得」で通知する。

校 納 金 2012年度校納金

本学以外の卒業生			本学の卒業生		
受講料	（年額）	450,000円*	受講料	（年額）	450,000円*
施設設備費	（前期）	50,000円*	施設設備費	（前期）	35,000円*
	（後期）	50,000円		（後期）	35,000円

注1) \*印が履修継続（再登録）手続時に納入する金額である。

注2) 経済情勢の変動等に応じて2013年度以降の校納金については改定があり得る。

## 研究生〔3〕

### 1. 専攻と修業年限・在籍年限

専攻	修業年限	在籍年限
弦楽器 管楽器 打楽器 ハープ	1年	2年
古楽器 声楽 作曲	1年	3年
指揮	1年	2年
音楽学	2年	3年

注)

- ・在籍は1年ごととし、継続希望者は毎年度所定の履修継続（再登録）手続きをしなければならない。

### 2. 受講科目

- ・専攻実技（音楽学、古楽器は14ページ参照）
- ・本学音楽学部の開設科目（受講者制限のため、一部受講できない科目がある）
- ・選択副科実技、室内楽・二重奏ソナタ（履修には別途受講料納入が必要となる）
- ・教職課程科目については、本学在学中に教職課程を履修していなかった場合は、受講料が別途必要となる。

### 3. 修了

1. 弦楽器・管楽器・打楽器・ハープ・声楽・作曲・指揮の各専攻  
1年ごとに修了試験を行う。合格者には「修了証」が交付され、その年度の課程を修了する。
2. 古楽器専攻  
2年目または3年目の年度末に修了試験を行う。（1年目の修了試験は行わない）  
合格者には「修了証」が交付され、課程を修了する。
3. 音楽学専攻  
2年目または3年目の年度末に修了論文を提出する。  
合格者には「修了証」が交付され、課程を修了する。

### 4. 募集人員

各専攻若干名

### 5. 出願要領

出願期間・方法 2012年1月5日（木）～1月15日（日）【郵送に限る。1月15日消印有効】  
事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

入学検定料 55,000円

必ず「検定料納金票」を使用し、銀行振込による。（納金票 **あ** を使用する）

- a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
- b) 納金票②票（領収証）は、銀行収納印をもって本学領収印に代える。
- c) ①、②、③票には受験する該当番号を○で囲み、（ ）内に専攻名を記入する。

### 提出書類等

#### 1) 研究生志願票

#### 2) 入学検定料振込の銀行領収印のある納金票**あ**の①票（受験証）

◎志願票と納金票**あ**の①票（受験証）の所定の枠に合わせて写真を貼付する。

- 正面上半身脱帽 ●背景のないもの ●3カ月以内に撮影したもの ●タテ4cm×ヨコ3cm

### 3) 出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書

### 4) 受験証送付用封筒

受験者本人が受け取る住所を記入し、350円分の切手を貼付する。

### 5) 伴奏譜 (コピー可)

伴奏がつく場合のみ提出。伴奏譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように体裁を整える等、配慮のこと。

また、複数曲ある場合は「伴奏譜提出票」をコピーし楽譜ごとに貼付する。

#### 【伴奏譜提出票について】

1. 「※受付番号」－何も記入しない。
2. 「区分」－『研』と記入する。
3. 「専攻楽器」－楽器名を記入する。

※ 上記の提出書類等を「出願書類送付用封筒」に入れて送付する。伴奏譜が大きくて本封筒に入らない場合は、他の封筒を用いてもよい。ただし、伴奏譜と志願票等は、必ず1つの封筒で郵送する。

**選考方法** 専攻実技試験 (入学試験専攻課題 9～13ページ参照)  
専攻により面接試験を課す。

**合格発表** 2012年2月21日(火) 16時予定

※ 合格者の受付番号を学内掲示発表および本学ホームページに掲載する。  
また、志願票に記載された宛先に入学手続書類を郵送する。

## 6. 入学手続

**手続期限・方法** 2012年3月7日(水)～14日(水)【郵送に限る。3月14日必着】

**提出書類等**

- 1) 身元保証書 (本学が指定する用紙)
- 2) 住民票 (本人のみ記載のもの) または住民票記載事項証明書
- 3) 学籍台帳 (本学が指定する用紙)
- 4) 写真 (タテ4cm×ヨコ3cm) 2枚
- 5) 誓約書 (本学が指定する用紙)
- 6) 「入学手続納付金払込用紙」の副票 他  
※詳細は「合格者心得」で通知する。

### 校納金

2012年度 校納金

本学以外の卒業生・卒業見込み者		本学の卒業生・卒業見込み者	
登録料	320,000円*	登録料	不要
受講料 (年額)	450,000円*	受講料 (年額)	450,000円*
施設設備費 (前期)	50,000円*	施設設備費 (前期)	35,000円*
(後期)	50,000円	(後期)	35,000円

注1) \*印が入学手続時に納入する金額である。

注2) 経済情勢の変動等に応じて2013年度以降の校納金については改定があり得る。



## 7. 試験日程

日程 専攻	1/24(火)	1/25(水)	1/27(金)	1/28(土)
管楽器			伴奏合わせ	専攻実技
打楽器			伴奏合わせ	専攻実技
声楽	伴奏合わせ	専攻実技		

日程 専攻	2/2(木)	2/12(日)	2/13(月)	2/14(火)	2/15(水)	備考
ヴァイオリン・ヴィオラ		伴奏合わせ	専攻実技			
チェロ・コントラバス		伴奏合わせ	専攻実技			
ハープ		伴奏合わせ	専攻実技			
古楽器			語学試験 通奏低音(筆記)試験	専攻実技 通奏低音(演奏)試験		
作曲	専攻面接					作品審査
指揮		和声 専攻実技 専攻面接		作曲理論ピアノ	聴音 新曲視唱	
音楽学			外国語	専攻面接		

注(1) 伴奏合わせ・試験当日の集合時間等については、本学から事前に郵送で通知をする。ただし、実施日の前日までに連絡のない場合は、事務局教務課入試係（電話：03-3307-4122）に問い合わせること。問い合わせ時間は9時から16時まで。

声楽専攻実技試験は「調布市文化会館 たづくり・くすのきホール」で行う。

- (2) 伴奏者は本学で準備する。伴奏譜を出願書類とともに提出する。なお、伴奏合わせは本学が指定する日時に1回行う。伴奏譜（コピー可）は、前述のように、伴奏者が演奏しやすいように体裁を整える等、配慮のこと。（7ページ参照）
- (3) 古楽器の伴奏合わせは、専攻課題の伴奏合わせを2月13日（月）に、アンサンブル試験の合わせを2月14日（火）に行う。なお、詳細は郵送する。
- (4) チェンバロ、打楽器専攻およびハープ専攻で無伴奏の場合は、伴奏合わせの日に練習のみ行う。集合時間については通知する。
- (5) 指揮専攻で「作曲理論ピアノによらない楽器等演奏」を受験する場合の演奏試験は、伴奏合わせを含めて2月12日（日）～14日（火）に行われる。

## 8. 入学試験専攻課題

(☆印の受験曲目票への記入方法については15ページを参照する)

**弦楽器専攻** ー 以下の課題を暗譜で演奏する。

[ヴァイオリン]

自由曲 1 曲 ☆

[ヴィオラ]

以下の中から任意の 1 曲の第 1 楽章、または終楽章 ☆

Bartók : Viola Concerto

Hindemith : Der Schwanendreher

[チェロ]

1) Bach の無伴奏組曲 6 曲の中から任意のプレリュード ☆

2) 以下のコンチェルトの中から任意の 1 曲の第 1 楽章、または終楽章 ☆

L. Boccherini : B-dur

A. Dvořák : h-moll

E. Elgar : e-moll

J. Haydn : 第 1 番 C-dur

J. Haydn : 第 2 番 D-dur

A. Khachaturian : e-moll

E. Lalo : d-moll

S. Prokofiev : 第 2 番 e-moll op. 125 Sinfonia Concertante

C. Saint-Saëns : 第 1 番 a-moll

R. Schumann : a-moll

D. Shostakovich : 第 1 番 Es-dur

P. Tchaikovsky : Rococo-Variations (主題・最終変奏曲を含め10分程度にまとめる)

S. Barbar : op. 22

D. Kabalewski : op. 49

S. Prokofiev : op. 132 Concertino

W. Walton

[コントラバス]

自由曲 1 曲 ☆

**管楽器専攻** ー 暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

[フルート] 以下の中から任意の 1 曲 ☆

Dutilleux : Sonatine

Jolivet : Chant de Linos

Martin : Ballade

Prokofiev : Sonate op. 94 1, 2 楽章

Schubert : Variation über “Trockne Blumen”

[オーボエ] 以下の中から任意の 1 曲 ☆

Mozart : Concerto

R. Strauss : Concerto

[クラリネット] 以下の中から任意の1曲 ☆

- Debussy : 1er Rhapsodie
- Mozart : Concerto
- R. G. Montbrun : Concertstück
- J. Françaix : Tema con Variazioni
- C. Nielsen : Concerto op. 57

[ファゴット] 以下の中から任意の1曲 ☆

- W. A. Mozart : Konzert für Fagott K. V. 191 B-dur
- C. M. v. Weber : Bassoon Concerto F-dur op. 75
- C. Saint-Saëns : Sonate pour Basson op. 168

[サクソフォン]

自由曲1曲 ☆

[トランペット] 以下の中から任意の1曲 ☆

- Haydn : Konzert für Trompete und Orchester Es-dur 第1, 2楽章
- Hindemith : Sonate für Trompete und Klavier 第1, 3楽章
- Hummel : Konzert für Trompete und Orchester Es-dur 第1, 2楽章

[テノール・トロンボーン] 以下の中から任意の1曲 ☆

- F. David : Concertino
- H. Tomasi : Concerto
- J. Pauer : Trombonetta
- F. Martin : Ballade
- Hindemith : Sonate

[バス・トロンボーン] 以下の中から任意の1曲 ☆

- E. Bozza : New Orleans
- J. Castérède : Fantaisie Concertante
- A. Wilder : Sonate
- H. Tomasi : Etre ou ne pas Etre
- F. David : Konzertino in B<sup>b</sup>

[ユーフォニウム] 以下の中から任意の1曲 ☆

- A. Butterworth : Partita op. 89
- T. R. George : Sonata for Baritone horn and Piano
- D. Gillingham : Blue Lake Fantasies

[チューバ] 以下の中から任意の1曲 ☆

- B. Broughton : Sonata for Tuba and Piano 第1, 2楽章
- V. Persichetti : Serenade No. 12 for Solo Tuba

[ホルン]

- R. Strauss : Concerto No. 1 第1, 2楽章

**打楽器専攻** ー 暗譜で演奏するか否かは自由とする。  
マリンバ、パーカッションとも、10分以内の自由曲 ☆

**ハーブ専攻** ー 暗譜で演奏する。  
自由曲1曲 ☆

**古楽器専攻** ー 以下の専攻課題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを実施する。

専攻課題Ⅰ（専攻実技）（暗譜で演奏するか否かは自由とする）

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの受験生は  
当日  $a^1 = 415$  または  $a^1 = 440$  のピッチの専攻楽器を使用すること。バロック・ヴァイオリンおよび  
バロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは  $a^1 = 415$  とし、  
ガット弦およびバロック弓を使用すること。

注2) 伴奏は本学で用意する。

### [チェンバロ]

#### (1) 課題曲

1) J. S. Bach : クラヴィーア練習曲第1部より ハルティータ 5番 BWV 829  
(繰り返しなし)

[推薦楽譜] Bärenreiter 社版 および Henle 社版

2) J. J. Froberger : Lamentation FbBWV 633

[推薦楽譜] Bärenreiter 社版 および Heugel 社版

3) W. Byrd : Fantasia (The Fitzwilliam Virginal Book L II)

[推薦楽譜] Dover 社版 および Stainer & Bell 社版

以上の3曲を全体で30分程度にまとめる。

注) 当日は後期プレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域FF-g<sup>♯</sup>、ピッチa<sup>1</sup>=415 レジスタ 8' 8" 4' L) および  
17世紀イタリアン・モデル(音域 GG-c<sup>♯</sup> ピッチa<sup>1</sup>=415 レジスタ 8' 8" ) 1段鍵盤チェンバロを使用する。

#### (2) 初見演奏

バロック時代の簡易な曲(予見時間5分)。試奏はできない。

### [リコーダー]

#### (1) 課題曲

① 以下の中から任意の1曲 ☆

Dario Castello : Solo Sonata

Giovanni Batista Fontana : Solo Sonata

② Francesco Barsanti : Sonata C-dur

#### (2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

### [フラウト・トラヴェルソ]

#### (1) 課題曲

① Michel Blavet : Sonate seconda ロ短調 (op. 3-2, 1740, Paris) 全楽章

繰り返しを付けて演奏のこと。

[指定楽譜] Studio per edizioni scelte 版

② Georg. Philipp. Telemann : 無伴奏フルートのための12のファンタジーから

第7番ニ長調、第12番ト短調

繰り返しを付けて演奏のこと。

#### (2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

[バロック・オーボエ]

(1) 課題曲

① C. P. E. Bach : オーボエと通奏低音のためのソナタ g-moll 全楽章

② François Chauvon : 組曲 I (“Tibiades” 1717) G-dur

(全音下げて F-dur でもよい)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

[ヴィオラ・ダ・ガンバ]

(1) 課題曲

① M. Marais : ヴィオール曲集第2巻 (1701年) より

“スペインのフォリア Folies d’espagne”

② J. S. Bach : ヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ 第2番 D-dur

BWV1028

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

[バロック・ヴァイオリン]

(1) 課題曲

① F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751)より

Composition I ~ XII のうち1曲

② F. Couperin : Concerts Royaux Nouveaux Concerts から任意の1曲

(10分程度にまとめる)

③ J. S. Bach : 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータより

任意の2楽章 (遅いものと速いもの)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

[バロック・チェロ]

(1) 課題曲

① Servais : Caprice No. 2 op. 11 [指定楽譜] Schott 社版

② J. S. Bach : Suite No. 3 BWV1009 全楽章 [指定楽譜] Bärenreiter 社版

(当日審査員が演奏する楽章を指定する)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

専攻課題Ⅱ (通奏低音)

1. 筆記試験

簡単な通奏低音のリアライゼーション (60分)

2. アンサンブル試験

課題曲は2月8日(水)までに本人あてに送付する。2月8日までに届かない場合は、事務局教務課入試係(電話:03-3307-4122)に問い合わせること。アンサンブルの相手は本学で用意する。

専攻課題Ⅲ (語学)

英語、ドイツ語、フランス語のいずれか1カ国語を選択 [辞書(電子辞書を含む)の持ち込み可] (志願票の受験希望外国語の欄に○をつける)

**声乐専攻** — 暗譜で演奏する。

以下の条件を満たす8曲を提出し、その中から当日指定された4曲を演奏する。☆

日本語・ドイツ語・イタリア語・フランス語の4カ国語の曲を各2曲とする。

◆オペラ・アリアを必ず2曲含むこと。ただし、3曲までとする。

(コンサート・アリア、宗教曲のアリア等はオペラ・アリアとして扱わずに歌曲に含める。)

◆オペラ・アリア以外の曲については2人以上の作曲家の作品にわたること。

◆全ての曲名を原語で書きオペラ・アリア以外は、調性を明記する。

◆オペラ・アリアの中で慣例的にいくつかの調性があるものは、分かる範囲で調性を明記すること。

◎出願書類とともに受験曲8曲の伴奏譜を必ず提出すること。

**作曲専攻** — 以下の(1)(2)を実施する。

(1) 作曲作品(1曲以上)の審査(出願書類とともに提出する)

(2) 専攻に関する面接

**指揮専攻** — 暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(1) Brahms : Symphony No. 2 第1楽章

Mozart : Zauberflöte 序曲

注: 以上2曲とも、本学で用意した2台ピアノの伴奏による。

(2) 面接

(3) 作曲理論ピアノまたは楽器等演奏

ア) 作曲理論ピアノ(①・②は暗譜で演奏する)

① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集第1, 2巻から任意の1曲 ☆  
(プレリュードとフーガ)

② 自由曲1曲 ☆

以上①、②合わせて15分以内の楽曲とする。

③ 新曲初見演奏1曲(予見時間5分)

イ) 作曲理論ピアノによらない楽器等演奏(弦楽器・声乐は暗譜。これ以外の楽器は、暗譜で演奏するか否かは自由とする)

自由曲 1曲 ☆

(4) 和声(旋律課題 ピアノ使用不可 3時間)

(5) 新曲視唱・聴音

**音楽学専攻** — 以下の課題を実施する。

A: 本学音楽学部音楽学専攻課程を卒業した者、もしくは卒業見込みの者  
専攻に関わる面接

B: 本学音楽学部音楽学専攻課程以外、または本学以外の大学学部を卒業した者、もしくは卒業見込みの者

1) 論文1編(出願書類とともに提出する)の審査

2) 成績証明書(出願書類とともに提出する)の審査

3) 外国語の筆記試験

英語、ドイツ語、フランス語のうち2カ国語を選択[辞書(電子辞書含む)の持ち込み可](志願票の受験希望外国語の欄に○をつける)

4) 専攻に関わる面接

5) 楽器演奏を課すことがある。

## 音楽学研究生カリキュラムに関する規定

---

音楽学専攻研究生は以下の科目を履修しなければならない。

- (1) 論文指導を毎年受けて、修了時に論文を提出する
- (2) 音楽学専攻演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの中から1科目を2または3年間
- (3) 合同ゼミへの出席
- (4) 楽書講読（独Ⅱまたは仏Ⅱ）を2または3年間

## 古楽器研究生カリキュラムに関する規定

---

古楽器専攻生は以下の科目を履修しなければならない。ただし、学部生として(2)(3)(4)の単位を取得した者はこれを除外する。

- (1) 古楽アンサンブルを各年度
- (2) 古楽概論
- (3) 古楽実習Ⅰ、Ⅱのうち1つを選択
- (4) 音楽文献学
- (5) 音楽学・古楽総合演習を各年度

## 出願書類等記入上の諸注意

### 志願票の記入方法

1.  で囲まれた項目を自筆で正確に記入する。
2. 「出願区分」…… [受験資格] (2ページ) に記載の、該当する項目 [a), b), c)] のいずれかを○で囲む。
3. 「楽器略語・コード」……別表 (16ページ) 「楽器略語・コード表」に従って記入する。
4. 「氏名」……戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
5. 「性別」「生年月日」……性別は該当を○で囲む。生年月日は、年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
6. 「設置者」「卒業・卒業見込年」……該当する番号を○で囲み、大学学部の卒業年または卒業見込年を西暦で記入する。
7. 「出身学校名」、「学部・学科・専攻」……各項目もれなく記入する。
8. 「保証人氏名・続柄」……各項目もれなく記入する。
9. 「手続き類あて先住所等」……原則として保証人の住所等を記入する。手続き類等を本人宅へ送付希望の場合は、[本人宅] に○をつけ、その住所等を記入すること。
10. 「受験期間中の居所」【研究生〔3〕の志願者のみ記入】……宿泊先の名称と電話番号を必ず記入する。志願票提出時に決まっていない場合、志願票提出後に変更があった場合は、決まり次第届け出る。
11. 「受験希望外国語」【研究生〔3〕の志願者のみ記入】……古楽器専攻は、専攻課題Ⅲの1カ国語の番号を○で囲む。音楽学専攻は、課題B-3) の2カ国語の番号を○で囲む。
12. 「入学後の実技担当希望教師名」……入学後の専攻実技担当教師は本学において決定するが、特に希望がある場合は、担当希望教師名を記入する。ただし希望どおりにならない場合がある。
13. 「音楽歴・現在の身分・職業等」【研究生〔3〕の志願者のみ記入】……音楽歴は今まで特に学習した音楽の内容等、現在の身分・職業等は現況どおりに記入する。

### 受験曲目票の記入方法

【研究生〔3〕の志願者のみ記入】

1. 「伴奏」……伴奏が必要な受験曲は 1 を、不要な受験曲は 2 を○で囲む。
2. 受験曲目の記入について  
作曲者名・曲名(調性、楽章等)を明記し、指定した欄に記入する。  
入学試験課題の中で☆印のついた課題は、以下を除き 1) 欄に記入する。  
チェロは 1)、2) 各々の欄に記入する。  
リコーダーは (1) ①を1) 欄に記入する。  
バロック・ヴァイオリンは(1)の①は1) 欄、②は2) 欄、③は3) 欄に記入する。  
声楽は 8曲を分けて1)から8) 欄に記入する。  
指揮は (3) ア) ①は1) 欄、②は2) 欄、イ)は3) 欄に記入する。



## 納金票の使用について

研究生〔1〕……………い 納金票を使用する。

研究生〔2〕……………う 納金票を使用する。

注) ①、②、③票は受験するコースの該当番号を○で囲み、( ) 内に専攻名を記入する。

研究生〔3〕……………あ 納金票を使用する。

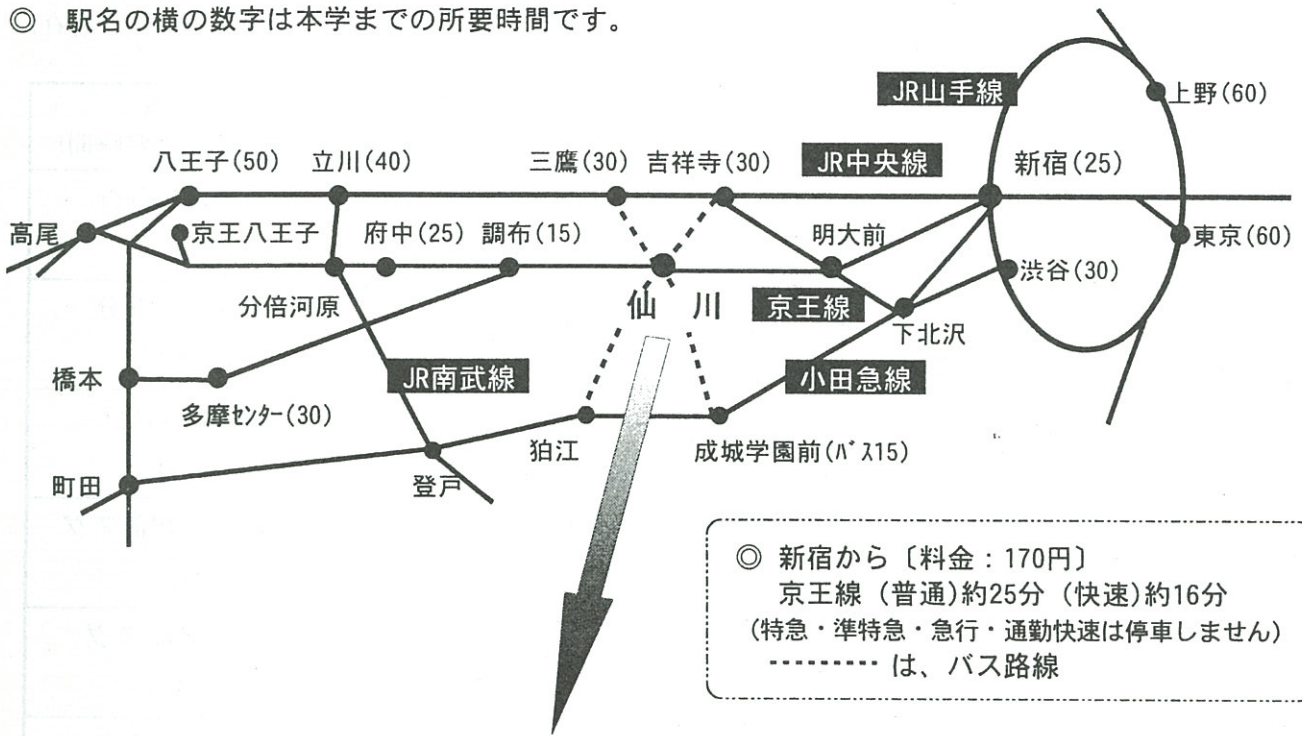
注) ①、②、③票は受験するコースの該当番号を○で囲み、( ) 内に専攻名を記入する。

### (別表) 楽器略語・コード表

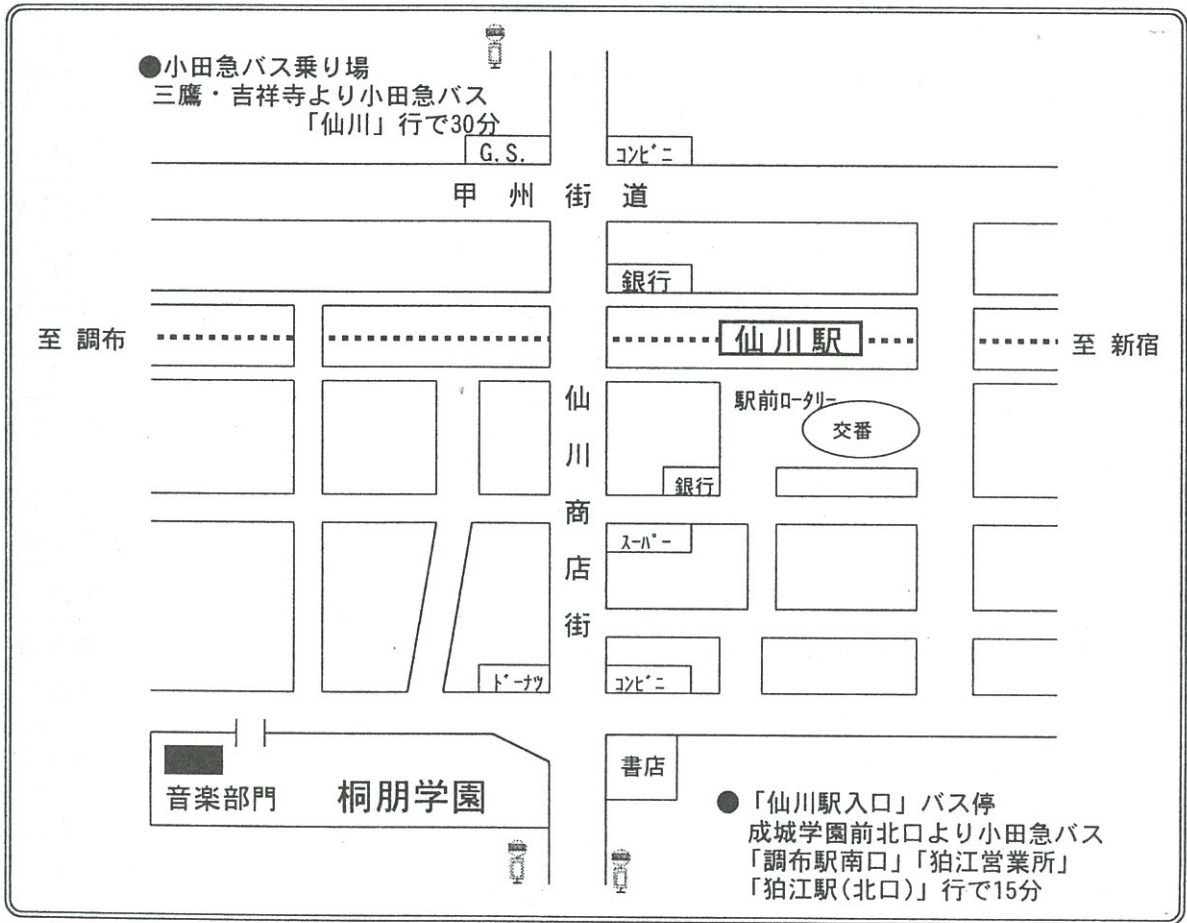
	専 攻	楽器略語	コード	
ピアノ		P f	0 1	
弦 楽 器	ヴァイオリン	V l	1 1	
	ヴィオラ	V a	1 2	
	チェロ	V c	1 3	
	コントラバス	C b	1 4	
管 楽 器	フルート	F l	2 1	
	オーボエ	O b	2 2	
	クラリネット	C l	2 3	
	ファゴット	F g	2 4	
	サクソフォン	S x	2 5	
	トランペット	T p	3 1	
	テノール・トロンボーン	T T	3 2	
	バス・トロンボーン	B T	3 3	
	ユーフォニウム	E u	3 4	
	チューバ	T u	3 5	
	ホルン	H r	3 6	
	打楽器	パーカッション	P c	4 1
		マリンバ	M a	4 2
ハープ		H p	5 1	
古 楽 器	リコーダー	R e	6 1	
	フラウト・トラヴェルソ	F T	6 2	
	バロック・オーボエ	B O	6 3	
	ヴィオラ・ダ・ガンバ	V G	6 4	
	チェンバロ	C e	6 5	
	バロック・ヴァイオリン	B V	6 6	
	バロック・チェロ	B C	6 7	
声 楽	女声	V f	7 1	
	男声	V m	7 2	
作 曲		C o	8 1	
指 揮		C d	8 2	
音楽学		M u	9 1	

# 交通機関案内図

◎ 駅名の横の数字は本学までの所要時間です。



◎ 新宿から〔料金：170円〕  
 京王線（普通）約25分（快速）約16分  
 （特急・準特急・急行・通勤快速は停車しません）  
 ----- は、バス路線



仙川駅から徒歩5分

## 宿泊施設

本学が斡旋しているものではありませんが、京王線沿線にはおおむね下記の宿泊施設があります。  
 予約・問い合わせは直接宿泊施設にお願いします。(2011年7月現在)

ホテル・旅館名	通常料金	受験生 プラン	最寄り駅 (仙川までの所要時間)
スターホテル東京 Tel:03-3361-1111	シングル 11,650～ ツイン 17,850～	×	新宿駅西口5分 (30分)
ホテルサンルートプラザ新宿 Tel:03-3375-3211	シングル 12,600～ ツイン 19,200～	×	新宿駅南口3分 (30分)
新宿ワシントンホテル Tel:03-3343-0489	シングル(新館) 12,805～(*) ツイン(新館) 21,000～(*)	◎	新宿駅南口8分 (30分)
渋谷東急イン Tel:03-3498-0109	シングル 15,700～ ツイン 24,700～	○	渋谷駅JR駅前スグ (40分)
吉祥寺東急イン Tel:0422-47-0109	シングル 12,600～ ツイン 20,800～	○	吉祥寺駅前スグ (30分)
ホテル ブーゲンビリア新宿 Tel:03-3378-4666	シングル 8,400～ ツイン 14,700～	×	笹塚駅北口5分 (25分)
調布クレストンホテル Tel:042-489-5000	シングル 11,335～ ツイン 17,325～	○	調布駅北口スグ (15分)
調布アーバンホテル Tel:042-486-9321	シングル 6,090～(*) ツイン 10,500～(*)	◎	飛田給駅7分 (20分)
ホテル武蔵野の森 Tel:042-362-1101	シングル 6,090～(*) ツイン 10,500～(*)	◎	飛田給駅7分 (20分)
マロウドイン東京 Tel:042-369-1111	シングル 8,200～ ツイン 13,600～	○	東府中駅北口1分 (25分)
府中アーバンホテル Tel:042-366-7777	シングル 6,510(*) ツイン 10,500(*)	◎	府中駅2分 (25分)
ホテル コンチネンタル府中 Tel:042-333-7111	シングル 6,930(*) ツイン 13,860(*)	◎	府中駅1分 (25分)
ビジネスホテルシティテル府中 Tel:042-334-9111	シングル 5,900～(*) ツイン 11,300～(*)	◎	府中駅1分 (25分)

※ 受験生プラン： ◎－桐朋学園の受験の旨を予約の際にお申し出ください。(\*)の料金は、申し出があった際の料金です。

※ 上記の他に、新宿駅(仙川駅から京王線で約25分)や渋谷駅(京王線で明大前駅にて井の頭線乗り換え、約30分)の周辺に多くの宿泊施設があります。

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 ☎03(3307)4101(代)  
<京王線仙川駅(新宿から約22分)下車、南へ徒歩5分>